

令和元年度 第1回 玉城町地方創生会議，玉城町総合計画審議会 議事録

日時：令和元年8月9日（金）19時00分～21時30分

場所：玉城町役場3階第1委員会室

【地方創生会議 事項】

1. 挨拶
2. 委嘱
3. 自己紹介【資料1】
4. 議題
 - (1) 玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略のH30年度施策の評価について【資料3～7】
 - (2) その他

【玉城町総合計画審議会 事項】

1. 挨拶
2. 議題
 - (1) 会長及び副会長の互選について
 - (2) 第6次総合計画及び第2次総合戦略の策定について【資料8】
 - (3) 住民アンケート調査について【資料9】
 - (4) その他

【配布資料】

- 資料1：玉城町総合計画審議会及び玉城町地方創生会議委員名簿
資料2：玉城町総合計画審議会条例、玉城町地方創生会議設置要綱
資料3：玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略における進捗管理について
資料4：玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価概略
資料5：玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価方法について
資料6：玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策事業検証結果一覧
資料7：玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業検証シート（個票）
資料8：総合計画・総合戦略策定スケジュール
資料9：第6次総合計画住民アンケート調査票（案）
別冊：第5次玉城町総合計画後期基本計画
別冊：玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略

【議事録】

事務局（里中）：【開会】

総合計画策定が大きな議題になる。また、総合計画を策定するときその中の一つとして地方創生会議を同じ委員で組織させていただいて開催させていただく。詳細は資料2で説明させていただく。

1. 挨拶

2. 委嘱

事務局（里中）：委嘱状を町長からお渡しさせていただく。

【町長より各委員に委嘱状交付】

町長：【挨拶】

3. 自己紹介

事務局（里中）：【板谷委員、矢野委員欠席報告】

【委員自己紹介】

【事務局自己紹介】

4. 議題

（1）玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略のH30年度施策の評価について

事務局（里中）：議長の町長より進めさせていただく。

議長（町長）：【進行】

事務局（永井）：【配布資料確認、本日のスケジュール説明（地方創生会議・総合計画審議会）】

【資料3～5説明】

委員：事業成果、評価の関係で、「相当程度効果があった（7～8割）である。目標値の9割達成はどうなるのか？「目標達成はしなかったが7割以上あった」といった表現の方が良い。

事務局（永井）：他にはよろしかったでしょうか。次に資料6について説明をさせていただきたい。

事務局（成川）：【資料6】

事務局（里中）：1-1-2⑤本事業における重要業績評価指標（KPI）「新規就農者数」は目標値延べ2人に対して、実績値延べ4人であり、目標達成しているため、事業成果は「地方創生に非常に効果があった」に訂正させていただく。

委員：1-1-5ふるさと納税を増やす方法の一つとして、リピーターがどのような感覚を持って続けてもらえるのかを考えた。東京に住んでいるような同級生や知人でも、玉城町の自然を守りたいと思って、玉城町にふるさと納税をしている。HPの写真を見て、ふるさと納税を決めた人が2人いる。自然景観、歴史的なものをPRすることはふるさと納税でも効果的なのかなと思う。

事務局（里中）：本町のふるさと納税のパンフレットは返礼品ばかりを押しているが、そのような視点も効果的であることを担当課に伝えます。

委員：後の施策に入れてもらってもよい。きっかけは単純な要素もある。

委員：子どもも納税している。松阪牛を玉城で育てていることに興味があったことから始めている。

事務局（里中）：ふるさと納税は返礼品合戦になっている。町のありのままの姿を出していてもよいというご意見ですね。

委員：玉城町で災害があったことを聞いて納税をしたという人もいる。マイナスのイメージでもよいと思う。

事務局（成川）：【資料6 P2 説明】

委員：先日8月3日商工会の夏祭りがにぎわって良かった。

社協で玉城町の祭りについて500人にアンケートを行った。結果は、来場者が5000人もいる、ええやんまつりの認知度が最低だった。来場者はいるが、祭の名前が皆さんに伝わっていない。イルミネーションの方が認知度は上だった。ええやんまつりの認知度を上げるための工夫があると良い。

事務局（里中）：名前と実際の祭りが結びついていないのかもしれない。

委員：1-1-2「創業支援セミナー」とあるが、実際に会社を経営されている人を対象にセミナーは実施されているのか。本当に経営に困っている人を対象にセミナーを実施されているのであればよいが。

事務局（里中）：新入社員研修や経営者を対象に経営課題解決のセミナーを開催している。

委員：町の交通政策が一番大事な課題になりつつある。元気バスの乗車だけでなく、タクシーと連携するといった違う手法など、活用を課題に検討する必要がある。多気町に従業員だけでも1000人規模のアクアイグニスができる。交通政策は町内だけで回していくことは難しい。広域で連携して取り組んでいくことを課題として上げてほしい。

事務局（里中）：「2-1-1 民間交通とタイアップした公共交通の充実」でその課題を上げさせていただく。

事務局（成川）：【資料6 P3 説明】

委員：「2-2-5 玉城町の魅力プロモーション」の成果「SNSで」とあるが、どのような場で上げているのか。

事務局（永井）：昨年の2月から地域おこし協力隊の立石さんがフェイスブックで発信している。

委員：立石さん本人がかなり意気込んでいる。イチゴ狩りに来たお客さんに声をかけて、フォローをお願いしている。若い人には効果があるのかなと思う。

委員：協力隊がTVで取り上げられているのを拝見した。

委員：協力隊の立石さんの期間が終わったら、次の地域おこし協力隊員は来るのか？期間が終わった後に就農するあてがあるのか心配している。そのあたりを明確にしてあげた方が、本人の気持ちも楽になると思う。就農がうまくいった事例があれば地域おこし協力隊員の応募が増えると思う。

事務局（里中）：地域おこし協力隊の方は、町での交付金を活用して、3年間は支援ができる。そのあとは自主自立が必要である。そこを町がうまくフォローできるとよい。新規就農支援なら、国、県の支援がある。事業の紹介をさせてもらいながら、一緒にやっているとよい。

委員：事業のラインナップを示してあげた方がよい。

委員：ふれあい農園にだけ来て、帰る人が多い。来た人が玉城町に入ってくれるとよいと思う。来訪客に紹介しやすいその他の場所があれば立石さんに教えてほしい。

委員：「2-2-3 玉城町地域防災計画に基づく防火活動の推進」自主防災組織数の評価はよいが、実際のここに書かれていない課題があるのではないかと。玉城町全体では自治区が 69 ある。昔からある地域になぜ自主防災組織ができていないのか。実際には組織化されていないところもある。自主防災の規定、規約はハードルが高いのか。

事務局（里中）：自主防災組織については、町から区長に話をしに行く。区長は1～2年で代わるので任期の問題があると思う。消防の組織が12～13はある。自警団はあるが、自主防災組織にはなっていない。区に出前講座を行っている実績は40回近くあるが、組織化まではできていない。実績に結びついていない。

委員：講座で1回話を聞くだけでは意識が低い。私が現在住んでいるところはいろんなことをしている。止まってしまうとできなくなる。持続的な取り組みが必要である。災害が多い。共助は必要だと思う。

委員：自治会が自治していない。自治会に入らない人もいる。区によって大きさも違う、高齢化もある。ひとまとめで対策は難しい。自治会の活動にはインセンティブがいると思う。区長なら区長手当、防災部長も手当などがいるのではないかと。

事務局（中西課長）：自主防災組織には来年度から手当を付けようとしている。田丸では台風の災害があったが、そのほかの地域では大丈夫という意識がある。地震に対しては必要だと声掛けをしている。神戸から来てもらって阪神・淡路大震災の時の話をしてもらおうとしている。以前に行ったときには、参加した人は自主防災組織を立ち上げる必要があるという意見をいただいたが、時間もたっている。精一杯推進していきたい。

事務局（成川）：【資料6P4説明】

委員：「3-1-1 玉城町の地域資源を活用した出会い、結婚支援の充実」、「3-1-2 出産希望をもつ男女への支援（特定不妊治療費など助成事業の推進）」KPIは3-1-2が効果なしで、3-1-1が効果ありとなっているこれでよいのか。事業の周知はどのようになっているのか。「3-1-1 玉城町の地域資源を活用した出会い、結婚支援の充実」成婚数がKPIとなっている。ターゲットを追いかけられているのか、KPIとしてふさわしくないのではないかと。保育所でもPRしてはどうか。

事務局（永井）：「3-1-1 玉城町の地域資源を活用した出会い、結婚支援の充実」の成婚率はもともと成果を追っていない。昨年から実施したものは後追いをしている。実績の1組はたまたま報告をいただいた。広報誌でも紹介をさせて頂いた。たまたま報告を受ける現状でKPIはきびしい。

委員：1組あったのはすごいこと。

事務局（里中）：KPIを見直したほうが良いという意見をいただく

事務局（成川）：【資料6P5説明】

委員：子どもが3人いる。「3-2-5 病児保育制度の実施」は大切だと思う。KPIがかけ離れている。今の制度では、診療を受けてから、前日に空き状況を確認する必要がある。制度設計が、

利用しにくいものになっている。ニーズと制度がマッチングしていないと考えられる。骨太に支えて頂きたい。

事務局（成川）：【資料6P6説明】

委員：「4-3-1 コミュニティ拠点、情報発信拠点の整備・充実」、「4-3-2 シティプロモーションの展開」は「相当効果があった」ではないか。

事務局（永井）：個票をみてほしい。実績値は目標値を上回っているが、実は初年度よりも実績が悪くなっているため、「効果がなかった」になっている。

委員：開始前より悪化したことを入れておいてほしい。これだけ見るとわからない。

事務局（永井）：評価をまとめるにあたって、「効果があった」部分は『意見がなかった。』とさせていただく。「効果がなかった」は意見をいただきたい。改善の示唆をいただきたい。

委員：3-2-1を始め全体的なことでもあるが、行政施策の評価で、数量的な評価がメインになることは仕方ないのはわかっている。ノーバディーズパーフェクトには妻も参加している。ネットワークを広げている。非常に効果が高いと感じている。参加人数の評価だけでなく、質的な効果はあると感じている。ぜひ継続していただきたい。一定の効果はあったといえると思う。

委員：4-3-1は「観光協会をつくる」という目標なのか。

委員：観光協会は、人材によるところが大きい。バックアッププランはほしい。

事務局（里中）：核になる人が必要である。行政がやるわけにはいかない。商工会とタッグを組んで動いているが、成果が上がるまでに言っていない。

委員：玉城町には車でしか来られない。町外の訪れる人を対象にガソリンスタンドなど交通拠点に情報を置く、案内ができる仕組みを考えたいほうが良い。

委員：4-3-2で周遊コースの設定とある。多気町には渡会町に抜ける道の情報誌があった。そのような広域的なものも含めて周知されるとよい。3町連携でタイアップができるとよい。

委員：ええやんまつりもそうである。うまくタイアップしてできるとよい。

委員：来訪者が絶対に立ち寄るので、情報誌をコンビニにおいてもらえるとよい。

議長（町長）：コンビニを活用して情報発信をさせてもらえると良い。貴重なご意見ありがとうございました。いろんな施策をして、伝え方、周知の仕方が弱い、伝える工夫をしなければいけないと感じた。町の重点施策として、子ども達を交通事故からどのように守るかを考えている。学校、民生委員などと一緒に考えていきたい。事故の関係で免許自主返納が必要である。そうすると高齢者の足の確保も必要である。地域ケア会議でタクシー券の交付を検討している

委員：大台町ではタクシー券の交付を後悔している。持続可能なやり方が必要である。一度始めるとあったものをなくすのは難しい。

事務局（中西課長）：タクシー券は月単位で翌月に持ち越しはないことを想定している。額は少ない。

議長（町長）：元気バスは10年になった。若い人も利用されるようになってきた。災害の関係でも自主防災組織、地区の伝統があって、区長が毎年変わる。熱心に活動しているところもある。紀宝町がタイムライン策定から動きがある。まずは地域が主体的に立ち上げない

と長続きしないと聞いている。働きかけをしっかりとる必要がある。玉城町の生産年齢人口は県内でも高い。婚活のイベントさらに良い成果の出るようにするかが課題である。貴重な意見をいただいた。

委員：観光、防災でも周知が必要である。SNS の時代である。スーパーで友達登録すると毎日情報が入って来る。活用することを考えてほしい。効率化にもなる。

【5分休憩、町長退席】

【玉城町総合計画審議会 事項】

1. 挨拶

2. 議題

(1) 会長及び副会長の互選について

事務局（里中）：資料2条例にあるように、会長、副会長を互選となっている。

委員：事務局一任でお願いしたい。

事務局（里中）：よろしいか。

委員（全員）：【拍手、賛成】

事務局（里中）：会長を池山委員、副会長を若宮委員にお願いしたい。

委員（全員）：【拍手、賛成】

会長（池山）：ご推薦をいただき、ありがとうございます。皆さんを束ねる役割を担わせていただきます。

(2) 第6次総合計画及び第2次総合戦略の策定について【資料8】

(3) 住民アンケート調査について【資料9】

事務局（永井）：【資料8、資料9説明】

委員：単純に問13から始まる満足度と重要度は見にくい。満足度は主観、重要度は町にとっての重要度を求めている。どちらがどちらかがわからなくなる。記入例や下段に選択肢を設けるなどわかりやすくしたほうが良い。

委員：P5産業（24）観光・交流の振興は、経済活動を問うているのか、来てほしい観光なのかわかりにくい。（25）働く場の確保や就業支援の取組、（26）働き方改革など就労環境の改善は、雇用の関係の施策である。働き方改革といわれている。町に求めて何とかなるものなのか、企業がすることではないのか。

事務局（永井）：総合計画の施策の一つであり、「就労環境の改善」として満足度、重要度を聞いた。

委員：SDGsに合わせているのではないかと。国は全部SDGsに合わせている。町民に聞くのであれば整理をしてほしい。P10 田丸駅舎の存続を設問として問うが、多かったらどうにかなるのか。

事務局（里中）：亀山市かぶと駅のように、町管理も含めて考えている。

委員：クラウドファンディングで集めたらよい。

会長（池山）：選択肢の3番目に思いがある。

委員：利用している人としていない人では意見が違うと思う。

事務局（永井）：田丸駅についてはどう思うか、率直な意見を聞きたい。

委員：古い建物であることをまず伝えるべきである。

委員：歴史があるのは知っているが、安心安全を考えると費用対効果はどうかと思う。

委員：山田上口駅はどこにも逃げるところがない。待つ場所がないのはしんどいと思う。傘を使っていると待てない。子どもの通学、高齢者の利用を考えると快適に使えることを考えてほしい。

会長（池山）：アンケートの改行、字の大きさ、フォントなど見やすいものになるよう配慮してほしい。

（４）その他

事務局（永井）：議事録は整理次第、メール、郵送させていただく。修正指示をいただきたい。

会長（池山）：本日の審議会は終了させていただきます。ありがとうございました。